

新年度予算、多種多様な議論・要望

予算特別委員会のあらまし

議員全員で構成する予算特別委員会(委員長:城後徳太郎、副委員長:山田修司)を設置し、新年度の各会計予算及び条例議案等について、3月14日から22日までの実質6日間で審査を行いました。

委員会では、新型コロナウイルス感染症対策、防災対策、庁舎整備、水洗化促進キャンペーン事業、放課後児童健全育成事業、動物園の魅力づくりに関することなど、多種多様な面から活発な議論が交わされました。

予算特別委員会における審査の結果については、委員長報告書にまとめ、3月25日の本会議において全ての予算議案及び条例議案を可決しました。

令和4年度における各会計の予算は以下のとおりで、一般会計予算の総額は599億円となりました。

令和4年度各会計予算の概要(1万円未満四捨五入)

区 分		予 算 額	対前年度当初比
一般会計		599億0,000万円	4.5%
特別会計	国民健康保険	143億3,535万円	△2.4%
	介護保険	133億5,875万円	△4.5%
	後期高齢者医療	21億2,640万円	△0.5%
	病院事業債管理	9億1,788万円	△26.1%
	水道事業	※1 42億3,720万円	3.1%
	公共下水道事業	※2 72億8,254万円	8.5%

※1 収益的支出 25億2,043万円
資本的支出 17億1,677万円

※2 収益的支出 35億3,580万円
資本的支出 37億4,674万円

正副委員長のコメント

城後徳太郎 予算特別委員長



予算特別委員会は新年度予算の審査を行う大変重要な委員会です。

審査の中では、委員から様々な発言があり、活発な議論が行われ、合

せて76件の意見・要望が述べられました。

新年度予算の審査として十分な議論を行うことができたと考えております。

また、新型コロナウイルスの感染対策を講じての開催となりましたが、全委員・市当局・議会事務局の協力もあり円滑に議事を進めることができたと考えております。

山田修司 予算特別副委員長



一般会計の予算規模で当初予算599億円、過去3番目の大型予算であります。

コロナ禍で限られた時間の中での審査

ではありましたが、二元代表制の一役を担う市議会として、全委員でしっかりと円滑に審査できました。

これからも安心して住み続けられるまちづくりを目指して取り組んでまいります。